

私のとおき 長浜



田村山から望む景色

鷹野 正子さん（高月町落川）



このコーナーは、市民の皆さんのとおきを紹介する市民情報交流コーナーです。市内の風景、場所、食べ物など、あなたの「とおき」を紹介してください。市民広報室まで（☎65-6504）※営利を目的とした利用はできません。

田村山の近くで生まれ育った私は、その頂きから望む景色が好きで時々訪れます。

西側一帯からは琵琶湖が一望でき、長浜の中心市街地も見渡せます。高い所から見下ろす景色は日常の喧騒や疲れを忘れさせ、不思議と心が癒されます。天気の良い日の夕焼けもとても素敵です。

昨秋、のどかな田園風景を走るS1を見ようと孫を連れてこの山を登ったとき、子どもが自然の中ではしゃぐ姿を見て、幼い頃に同じ場所で姉や兄と一緒に駆け回ったことを懐かしく思い起こしました。

山の東側へ移動すると、伊吹山やそこから連なる山々が美しく、普段見慣れている風景も一味違って楽しめる、とてもよい場所です。



▲頂きを白くした伊吹山の眺め

2月15日(土) 子どもと一緒に絵本を楽しもう！

元祖「イクメン」として知られる安藤哲也さんを講師に迎え、絵本を楽しむ催しが開催されました。

会場に集まったのは、0歳～11歳の子ども達とお父さん、お母さん。安藤さんはそれぞれの年齢に応じた本を紹介したほか、「三びきのやぎのがらがらどん」をギター演奏にのせて語りました。

安藤さんは「子どもがその時に読みたい本を、親も一緒に楽しみながら読んであげるのが一番」と参加者らに呼びかけました。



2月16日(日) 雪とかす熱いプロレス

穏やかな余呉湖のほとりで、レスラーたちが迫力満点の「雪上プロレス」を繰り広げました。

この「雪上プロレスは」、湖北の風景や人の温かさにひかれたレスラー黒影選手が企画したもので、湖北の地域振興に賛同する仲間や地元住民らの協力により開催されました。

当日はご当地ユニットCan'ce♡浜姫も応援に駆け付け、デビュー曲「大丈夫は魔法の言葉」などを披露し、会場を大いに盛り上げました。



ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室（☎65-6504）までお知らせください。市公式Facebookページではさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」

検索

2月1日(土) 今年も巻き上げました

毎年恒例の「北郷里一長い太巻きずし」に今年も地区の親子100人余りが挑戦しました。

主催するのは地元の社会福祉協議会と青少年育成会で、この日は米30kgに海苔150枚、しいたけ、かんぴょう、卵など大量の具が用意されました。

参加者らは酢飯や具を特製巻き簾にきれいに並べ、号令のもと息を合わせて巻き上げました。

その長さは23.75mで、昨年までの記録を75cm上回り、会場からは「やったー」の歓声が上がりました。



2月2日(日) 手づくりの舞台で演じ、歌う

長浜小学校合唱団の定期演奏会が、長浜文化芸術会館で開催され、2～6年生34人の団員がのびやかな歌声を響かせました。

クライマックスの第3部では、ミュージカル「リトルマーメイド」を上演。保護者らが手作りした衣装を身にまとい、いきいきと演じ、歌う団員たちの表情には充実感があふれます。

指導にあたる北村美佳さんは「難しい題材でしたが、団員たちは助け合いながら、良くやってくれました」と話しました。



2月9日(日) 私も長浜の魅力を発信！

市民活動団体「STUDIOこほく」と市民広報室とが協働で開いた「カンタン！私にもできる情報発信講座」。広い市域にある様々な魅力を、市民自らが情報発信するきっかけになればと開催しました。

講座には、初心者向けと中級者向け合わせて40人近くが参加。フェイスブックやツイッターなどを活用した効果的なPR方法や、報道機関等への資料提供の方法についての説明に、参加者らは熱心に耳を傾けていました。



2月10日(月) きもの姿で優雅なひとときを

地場産業「浜ちりめん」や盆梅展など、長浜の魅力を発信しようと「長浜きもの早春のつどい」が開かれました。

5回目となる今回は、ティーブレンダーの熊崎俊太郎さんの講演が行われた他、浜縮緬工業協同組合の吉田和生副理事長が、浜ちりめんの歴史や、製造工程などを紹介しました。

このあと参加者らは、ライトアップされた長浜盆梅展を観賞した他、ディナーパーティや豪華景品が当たる大抽選会を楽しみました。

